

平成21年度「高等学校における発達障害支援モデル事業」研究概要

(平成21年度指定、第1年次)

学 校 名	研 究 内 容
ほつかいどうさつぼろきたこうとうがっこう 北海道札幌北高等学校 ていじせいかてい 定時制課程	<p>○研究課題 発達障害のある生徒へのソーシャルスキル指導の在り方に関する実践研究</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外部関係機関との連携 ②生徒の実態把握の工夫 ③発達障害の生徒がストレスを感じない授業の在り方の研究 ④周りの生徒も含めて、集団として生活していく上での社会性の育成 ⑤他の機関との積極的な連携と情報発信
やまがたけんりつかじようがくえん 山形県立霞城学園 こうとうがっこう 高等学校	<p>○研究課題 発達障がい等の特別な支援を必要とする生徒へのキャリア教育を通じた支援の在り方について－関係機関と連携した取組を通して－</p> <p>○研究の概要 特別な支援を必要とする個々の生徒のニーズに適切に対応するために、特別支援学校や関係機関の助言を得ながら効果的な支援を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教職員に対する理解啓発の推進と校内の支援体制の整備の在り方 ②個々の生徒のニーズに対応した、適応のための具体的な支援の方策 ③卒業後の自立に向けたキャリア教育の推進と就労等の支援の在り方 ④周囲の生徒や保護者等の理解を図り、支援の輪を広げるための方策 ⑤関係機関との連携による、支援のネットワークの構築に向けた調査・研究

学 校 名	研 究 内 容
<p>とうきょうとりつあだちひがし 東京都立足立東</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害のある生徒を含め、特別な支援を必要とする生徒への指導・支援を行うことが、すべての生徒への学力向上など、有効な指導・支援につながるという視点から、その具体的な支援の在り方、進め方に関する実践的研究を行う</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学識経験者等を活用した教職員の理解啓発のための校内研修の実施 ・ 発達障害のある生徒に対する授業内容の工夫・指導方法の改善 ・ 臨床発達心理士を活用した生徒の適切な実態把握 ・ 発達障害等のある生徒に対して、ハローワーク等と連携したキャリア教育の実施 ・ 地域の関係機関とのネットワークの構築
<p>とうきょうだいがくきょういくがくぶふぞく 東京大学教育学部附属</p> <p>ちゅうとうきょういくがっこう 中等教育学校</p>	<p>○研究課題 中等教育学校における特別支援教育の推進と課題</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年、担任の観察による支援を必要とする生徒の把握と面談 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や本人からの支援を求める申し立てのあった場合について学年担任壇で面談をする。 ・ 校内研究委員会で支援を必要とする生徒について協議を行い、様々な指導の方針を複数回にわたり探る。 ○ 専門家からの指導・助言を得る <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導・助言をもとに教職員が協力して指導に当たり、その成果や観察内容を1年次のまとめとする。

学 校 名	研 究 内 容
<p>かながわけんりつよこはましゅうゆうかん 神奈川県立横浜修悠館 <small>こうとうがっこう</small> 高等学校</p>	<p>○研究課題 通信教育の特性を生かした発達障害のある生徒への支援の在り方ー特別支援学校、保護者・地域、ボランティア等と連携した支援プログラムの開発ー</p> <p>○研究の概要 ○研究体制の整備 ○通信教育の特性を生かした発達障害のある生徒への支援の在り方の検討 ○連携を生かした効果的な支援の検討 ○支援プログラムの開発と連携体制の整備 ○実践を通じた検証</p>
<p>にいがたけんりつあらかわこうとうがっこう 新潟県立荒川高等学校</p>	<p>○研究課題 一人ひとりの特別な教育的ニーズに応じた支援を行うために、教育相談委員会を中心とした校内支援システムの構築と支援の在り方を探る</p> <p>○研究の概要 ①校内支援体制の整備と関係機関との在り方 ・教育相談委員会が中心となり、生徒の実態把握、情報の共有、効果的な支援の実施、その評価、フィードバックという一連の支援システムを構築し、学校全体が一貫して有機的に連携して支援が行えるように取り組む。また、特別支援教育コーディネーターの活用、関係機関との連携を進める。 ②生徒理解と個々の生徒のニーズに応じた支援の在り方、進め方 ・生徒一人ひとりの障害やニーズに応じた個別の指導計画を作成し支援する。 ③ソーシャルスキルトレーニング実施に向けた取組 ・ソーシャルスキルトレーニングについて教員の研修を行い、支援を要する生徒、その他の生徒を対象としたプログラムの構築を行う。 ④進学・就労等への支援の在り方 ・卒業後の就労を通じた社会的自立を図るために、専門機関との連携や支援を行う。また、進学を希望する生徒についても、関係する学校との連携を行う。 ⑤全校生徒及び保護者への理解・啓発活動の在り方 ・理解、啓発リーフレットの作成や保護者向け講演会を行う。 ⑥検証 ・教育相談委員会が中心となり、研究内容の達成状況・進捗状況を検証するとともに、生徒、保護者、教職員にアンケート等を行い、年次ごとの検証、総括を行う。</p>

学 校 名	研 究 内 容
<p>とやまけんりつしきのこうとうがっこう 富山県立志貴野高等学校</p>	<p>○研究課題 生徒が良好な人間関係を育むための支援活動を積極的に進めるための在り方と発達障害等のある特別な教育的支援を必要としている生徒に対して、集団や個に応じた支援の在り方を如何にすればよいかについて</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援推進委員会が効果的に機能するための主体的な活動及び、関係機関との連携 ・ 校内委員会、個別事例検討会、外部講師による研修会の開催 ・ キャリア教育等の就労支援の在り方についての研究 ・ 保護者との連携及び保護者支援 ・ 教職員及び生徒、保護者へのアンケート等によるそれぞれの実践の検証
<p>みえけんりつしまこうとうがっこう 三重県立志摩高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害をはじめとする教育的な関与を必要とする生徒に対する指導方法及び指導内容の実践的研究 ・ 基礎基本の定着を目指したユニバーサルデザインの視点での授業や学びを支える学級集団づくりの実践展開に関する研究 <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校内支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内組織の整理統合を行い、全日制高等学校普通科における、学校体制の在り方について研究を行う。 ②「学習上の課題（アカデミックスキル）」解決のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のユニバーサルデザイン化（わかる授業、体感する授業）をめざし、各教科の専門内容に加え、一斉指導の場面における個への対応について（生徒個々に応じた効果的な支援）研究を行い、生徒の授業満足度調査及び到達度調査からその効果を検証する。 ③「学校生活への適応力の課題（ソーシャルスキル）」解決のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期からの職業指導や就業体験等、就労支援に関して、ソーシャルスキルトレーニングを応用したキャリア教育を実践し、学級満足度調査Q-Uを活用し、支援を必要とする生徒の変容を検証する。

学 校 名	研 究 内 容
<p>わかやまけんりつわかやまひがし 和歌山県立和歌山東</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <p>発達障害により特別な教育的支援を必要としている生徒に対し、個別の支援を行うとともに、授業方法等においても「わかる授業」を工夫し取り組むことは、発達障害のある生徒だけでなく、すべての生徒の学力向上につながっていくという認識のもと、教務部や教育課程委員会と連携しながら、カリキュラムの充実及び教材の精選や授業方法・授業形態の工夫などの授業研究を実施する。また、高等学校における特別支援教育のセンター校として、県内各高校での現職教育等の研修講師や巡回指導の実施や高等学校コーディネーター会議を開催し、高等学校全体の体制整備を推進する。</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高等学校における特別支援教育のセンター的役割 ②各高等学校コーディネーター会議の開催による高等学校全体の体制整備の推進 ③カリキュラムの充実及び教材の精選、授業方法・形態の工夫等の授業研究 ④生徒実態把握のためのアンケート活用による学級集団づくり ⑤専門機関との連携による就労支援体制の構築
<p>おかやまけんりつわけしずたに 岡山県立和気閑谷</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある生徒だけでなく、全ての生徒がいきいきと学校生活を送るための、日常の教育活動における指導・支援に関する研究 ・特別な支援を必要とする生徒を対象とした、個別の教育支援計画の作成と活用に関する研究 <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校内支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育研究室の設置と支援システムの構築等 ②情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・先進校等への視察、関係研修会への参加 ③教職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の実施による発達障害及び特別支援教育に関する理解促進、事例検討会の実施 ④生徒の実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・診断の有無にかかわらず、特別な支援を必要としている生徒についての調査の実施等による実態把握 ⑤日常の教育活動における指導・支援に関する検討と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと参加できる授業づくりや「気になる」生徒への効果的な対応に関する実践事例研究等の検討 ⑥研究委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関の委員を交えて、研究の方向性や進め方、個別の教育支援計画作成に関する検討と検証 ⑦生徒・保護者等に対する理解・啓発の在り方についての研究 ⑧実践の検証 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者へのアンケート等による実践の検証

学 校 名	研 究 内 容
<p>にしにほんたんきだいがくふぞく 西日本短期大学附属 こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 高等学校におけるLD、ADHD、高機能自閉症・アスペルガー症候群等の発達障害を有する生徒及びその他特別な支援を必要とする生徒の多様な教育的ニーズ、個性に対応し個に配慮した教育課程、指導内容・方法についての研究</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・「専門家チーム」会議を実施し、本校の取組の評価や支援の在り方について指導・助言を仰ぎ、「ケース会議」で検討の上、生徒のつまづき・困難等の実態の把握や理解を深める方法の研究に活用し、「発達支援クラス」で支援を行う。 ○個別的な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「校内研究委員会」で議論の上、「個別の指導計画」を立案・作成し、社会的自立に向けた個々の生徒の学習、社会性、職業に関する指導及び評価方法の研究に活用する。 ○教員の障害理解と意識の変革 ○研究成果の評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ・学力検査及び認知能力、その他発達に関する心理検査を実施する。
<p>さがけんりつたらこうとうがっこう 佐賀県立太良高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害のある生徒も気になる生徒の一人として受け入れて自己実現を図っていくために、全日制高校で求められるカリキュラムをはじめ、支援体制、効果的な指導法や教材、就労支援などの研究を課題とする</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある生徒に対応した教育課程及び教育内容についての研究 ・具体的な指導・支援の方法についての研究 ・教育環境の整備 ・校内委員会における事例検討 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用 ・研究授業の実施 ・研修の実施（教職員対象、地域の関係者対象） ・研究委員会の中で、専門家による外部委員を活用した検証

学 校 名	研 究 内 容
<p>ながさきぎよくせいこうとうがっこう 長崎玉成高等学校</p>	<p>○研究課題 高等学校における発達障害のある生徒一人ひとりにきめ細やかな教育的支援を行う取組～社会適応に向けた基礎学力・ソーシャルスキル力の育成～</p> <p>○研究の概要</p> <p>①校内支援体制の確立、特別支援教育コーディネーターの指名、職員研修の実施</p> <p>②発達障害のある生徒の実態把握</p> <p>③学校設定科目の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベーシック」：基礎学力養成を図り、教育的効果の数値的検証を行う ・「S S T」：県内初の取組でもあり1年間の実践を通して生徒の成長を観察。本校生に適した教材の研究を行う。 ・「ハウスワーク」：家庭生活の充実に向け実践・研究を行う。 <p>④就労支援の在り方について関係機関と連携、キャリア教育の在り方を検討</p> <p>⑤ノーマライゼーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のない生徒・保護者への理解啓発活動
<p>くまもとけんりつくまこうぎよう 熊本県立球磨工業 こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害等の生徒の就労・定着へ向けた、関係機関との連携と3年間の計画的な進路指導の在り方についての研究</p> <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学習面・生活面での困り感を理解し、それに対する支援方法を研究 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携しながら、授業改善を進めるとともに、就労に向けての生活面におけるソーシャルスキルトレーニングの効果的な方法を確立する。 ○保護者に対して発達障害に関する正しい理解を得るための手だてや方法を検討 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害についての知識や支援方法に関する講演などにより、保護者・地域・教員への理解啓発を行う。 ○学習面でのつまづきのある生徒の実態を把握し、基礎学力定着に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力定着のための校内検定への取組を全職員で行うことで、生徒の困り感を理解し、授業改善へと繋げていく。 ○就労のための関係機関との連携及び支援の在り方についての研究 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある生徒の就労に関して、関係機関との協力体制の中で、就労・定着への具体的方策を確立する。

(平成20年度指定、第2年次)

学 校 名	研 究 内 容
<p>ほつかいどうしべつひがしこうがっこう 北海道士別東高等学校</p>	<p>○研究課題 一人ひとりの評価に基づき、全生徒に支援的にかかわる学校体制の構築</p> <p>○研究の概要 学習支援を軸にした取組を継続しながらも、満遍なく生徒を支援することを念頭に次の課題に継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒を支える校内体制の安定化・専門機関との連携を有効に活用した生徒理解のための研修の継続・生徒の実態把握に基づいた教育課程の検討と授業内容の研究・生徒の自立を見据えた進路指導・保護者・幼・保・小中学校等・連絡先との連携
<p>ぐんまけんりつまえぼしせいりょう 群馬県立前橋清陵 こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 高等学校における発達障害等のある生徒、特別な支援を必要とする生徒への学習指導、生活指導、進路指導等に関する具体的な支援方法の改善についての研究</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none">①発達障害等により特別な支援を必要とする生徒の実態把握の方法<ul style="list-style-type: none">・職員による観察と心理検査を実施し、経過観察等で検証する。②発達障害等により特別な支援を必要とする生徒に対する具体的な支援の方法<ul style="list-style-type: none">・専門家チームとの共同による支援を行い、アンケート等で検証する。③発達障害等により特別な支援を必要とする生徒に対する学習指導の進め方<ul style="list-style-type: none">・視覚的な支援や個別支援等による授業改善を実施し、考查結果等で検証する。④発達障害等により特別な支援を必要とする生徒に対する学校生活への適応指導の進め方<ul style="list-style-type: none">・「個別支援ファイル」(仮称)を作成し、活用しながら有用性等を検証する。⑤発達障害等により特別な支援を必要とする生徒を含むキャリア教育の在り方<ul style="list-style-type: none">・外部講師による生徒向け講演会や人権教育を絡めた理解促進等の指導を行い、アンケート等で検証する。⑥関係機関との連携<ul style="list-style-type: none">・関係機関と情報交換や就労支援を行い、報告会等で検証する。

学 校 名	研 究 内 容
<p>ちばけんりつふなばしほうでん 千葉県立船橋法典</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害を含め特別な支援を必要とする生徒への「きめ細かです丁寧な指導・支援」を行うことが、すべての生徒への学力向上など、有効な指導・支援につながるという視点から、その具体的な指導方法についての実践的な検討及び有効な教材の開発を行う。また、成長と共に「生きにくさ」を感じてきた生徒に対する個別支援のためのシステムの構築に向けた研究を進める</p> <p>○研究の概要 発達障害の可能性のある生徒とそれ以外の生徒が共に生活する集団における授業を中心とする教育活動の在り方について、実践的に研究するとともに、発達障害等を含め「生きにくさ」を実感してきた生徒への一人一人のニーズに応じた支援方法について研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導・生徒指導・進路指導の個々に対する支援の工夫 ・個々の生徒に合わせたキャリア教育を推進 ・関係機関と連携し、サポート及びリファーマ体制を確立 ・社会性を高める指導をするためのプログラム（SSE等）の実施や、教材開発 ・高等学校における「個別の指導計画」の作成、活用 ・心理検査やkiss18の実施、何名かへの個別インタビュー
<p>にいがたけんりついずもぎき 新潟県立出雲崎</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害等により特別な教育的支援を必要としている生徒に対して、個々に応じた支援の進め方と在り方及び支援体制・組織作りを研究する</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校内支援体制のシステム化及び役割分担の整備 ②関係機関との連携システム等の検討及び役割分担の明確化 ③生徒理解と個々の生徒のニーズに応じた支援の在り方、進め方 ④校内のユニバーサルデザイン化に向けた取組 ⑤自立・就労支援と、それに向けたソーシャルスキルトレーニングの取組 ⑥全校生徒及び保護者への理解・啓発の取組

学 校 名	研 究 内 容
<p>ながのけんりつもちづきこうとうがつこう 長野県立望月高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある生徒に対し、教科指導の在り方とソーシャルスキルの段階的指導方法についての研究を行う ・関係機関との連携を通して就労支援、進学支援の方法を研究する <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校内支援体制の整備と関係機関との連携 ②ソーシャルスキルの段階的指導方法の研究 ③進学、就労支援の在り方についての研究 ④事例検討による支援の検証
<p>ながのけんりつしもたかいのうりん 長野県立下高井農林 <small>こうとうがつこう</small> 高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <p>基礎学力充実のための「わかる授業」や農業実習を通じたSST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施する中での、発達障害のある生徒を中心とした特別な支援を必要とする生徒への個に応じた学習指導に関する研究</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒の実態把握と個に応じた指導の研究 ②学校設定科目「カルチベーション」のカリキュラム研究 ③少人数学習集団による指導方法の研究 ④農業実習を通じたSSTに関する指導方法の研究

学 校 名	研 究 内 容
<p>あいちけんりつこるもだいこうとうがつこう 愛知県立衣台高等学校</p>	<p>○研究課題 すべての生徒への積極的なサポート体制の構築に向けて、発達障害の可能性のある生徒への支援を念頭に研究する</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個別支援計画や学級支援計画の立案、評価方法等の研究 ②現職研修の充実と情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・現職研修の実施、研究開発校・モデル校視察 ・報告会の実施、活用 ③心理検査の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・Q-U調査法を用いる。調査法から得た資料を効果的に活用する。 ④保護者や地域との連携を図るための情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムを実施するとともに、本校の取組の成果を発表することにより、発達障害のある青年期生徒に対する理解を深める啓発活動を行う。
<p>おさかふりつももだにこうとうがつこう 大阪府立桃谷高等学校</p>	<p>○研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校内支援体制の構築及び関係機関との連携の在り方について ②発達障がいのある生徒の自己理解を深めるための支援の在り方について ③生徒・保護者等に対する理解・啓発の在り方について ④発達障がいのある生徒に対する適切な進路指導の在り方について <p>○研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内支援体制を検証・検討し、充実を図るとともに、他校への調査等を行い、コーディネーター、支援体制、関係機関との連携の在り方等について研究の充実を図る。 ・発達障がいのある生徒の実態把握の方法を検証・検討する。 ・学習支援のためのカリキュラムや授業方法等及び「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の活用方策について研究する。 ・生徒一人ひとりの障がいの状況等に応じた指導・支援の在り方を検討し、ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイの手法などを用い、生徒一人ひとりの状況に応じた支援プログラムについて研究する。 ・学識経験者等の参画する事例検討会、職員研修等を開催するとともに、生徒、保護者に対する理解・啓発の取組の充実を図る。 ・地域での関係機関との連携を深め、生徒の卒業後をみすえた進学先やハローワーク等の関係機関との連携の充実を図る。

学 校 名	研 究 内 容
<p>ひょうごけんりつひめじべつしよ 兵庫県立姫路別所</p> <p>こうとうがっこう 高等学校</p>	<p>○研究課題 特別支援学校等との連携による発達障害のある生徒に対する教育の研究</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①キャンパスカウンセラーや地域の専門機関と連携し、発達障害がある生徒のニーズに個別に対応する。 ②学校行事を含め、あらゆる場面で生徒の自己肯定感を育てる指導を展開する。 ③「集中でき、わかる」授業について研究する。 ④地域の専門機関と連携し、就労支援につながるソーシャルスキルトレーニングを体系的に実施する。 ⑤生徒アンケートや学校評価等を活用し、成果の指標とする。
<p>ながとこうとうがっこう 長門高等学校</p>	<p>○研究課題 発達障害の疑いがある生徒に対応するための全日制課程と通信制課程を連携させた支援の在り方</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教職員の発達障害に対する理解をより一層深めるため、外部講師による校内研修会の充実・深化を図る。 ②生徒一人ひとりの障害の状況に応じた支援の在り方を検討し、ソーシャルスキルトレーニングを導入し、生徒に自己理解を深めさせるための支援体制を構築する。 ③各教科において、レポート方式を中心に、教科指導の工夫・改善を図るための研究を行う。 ④「個別の教育支援計画」の策定及び「個別の指導計画」の内容充実のために関係機関との連携を密にし、生徒の自立に向けての適切な進路指導の在り方を研究する。
<p>こうちけんりつこうちきたこうとうがっこう 高知県立高知北高等学校</p>	<p>○研究課題 高等学校における発達障害生徒への支援の在り方に関する実践的研究</p> <p>○研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①研究委員会の開催 ②校内支援体制の充実 ③先進校視察、全国レベルの研修会への参加等による情報収集 ④発達障害のある生徒への指導方法の検討と実践 ⑤関係機関と連携した進学や就労に向けた支援の在り方についての検討 ⑥教職員研修の充実 ⑦保護者との連携及び保護者支援 ⑧実践の検証